

富山県防犯設備協会の紹介

富山県防犯設備協会 事務局長 高嶋 郁
ライフガード北陸 支社長
富山県認定防犯スーパーバイザー
防犯設備士



富山県と聞いて、びんと来る方は今までは少なかったと思います。

富山県ってどこ?東北?山陰の辺?いえいえ北陸です。富山って石川県?なんていわれたことも。最近では北陸新幹線の開通で、富山県の認知度も高まってきたかと思っています。

富山県といえば、氷見市の寒ブリ。11月末から2月にかけての寒ブリのシーズンには、県外からの観光客も多くなります。寒ブリの他にも、黒部峡谷や黒部ダム、立山の称名滝、たくさんの温泉、歴史のある伝統芸能、伝統工芸など、あまり知られていない事も多いのですが、自然豊かで災害も少なく、住みやすい県です。

人口は約106万人ですが、新幹線の駅もでき、企業の誘致にも力を入れていることから、今後増加する傾向にあるのではないかと思います。

新幹線開通に伴い、駅の整備や道路の整備もおこなわれましたが、交通の便がよくなったと同時に、県外からの出稼ぎ泥棒が増えるのでは、と、富山県警生活安全部長のお話にもありました。地方はどうしても防犯意識が低いので、侵入しやすく逃げやすい、泥棒にとっては絶好のターゲットになりやすい環境にあるということです。

便利になったと同時に、狙われやすくなったということ、を、今、特に訴え、防犯意識を高め、防犯機器について知ってもらう活動をしていかなければなりません。

富山県防犯設備協会は2008年に設立され、企業会員は、防犯カメラ、防犯システム、防犯フィルム、鍵、サッシ・ドアを扱う11社で構成され、個人会員は16名です。

活動内容は、主に警察関係、自治体からのご依頼で、企業の研修や防犯協会、青色パトロールの皆さん、警察学校での講義として防犯セミナー・講演活動をして

おります。公民館などで人が集まるときなども、地域と自宅の防犯対策についてお話させていただいており、ホールでの講演であろうが、10人ほどの集まりであろうが防犯の知識を持っていただくために精力的に活動しております。



防犯講演(上記3枚)

防犯啓蒙活動としては、ハウスメーカーや住宅展示場、イベントなどでの防犯機器の展示や解説をさせていただき、防犯機器の効果や重要性をアピールしております。

戸建やマンションにお住まいの皆様からのご依頼で、防犯診断・相談などもおこなっております。

富山県防犯設備協会をもっと広くPRしよう、防犯設備をわかりやすく解説し、身近なものに思ってもらえるようにと、今年、チラシを作成致しました。

富山県内の各警察署や、地域の防犯協会に置いていただいたり、イベント・講演時に配らせていただいたりすることで、一般の方からも少しずつではありますが防犯対策や防犯診断のお問合せが来るようになり、認知度も高まってきたように思います。

しかし、まだまだ防犯意識が低い富山県。いまだに鍵をかけないお宅も多く、侵入の手口として無施錠被害が一番多いのが現状です。いかに鍵掛けが大切か、どうしても自分の身は自分で守る意識をひとりひとりに持っていただけるかという防犯の基本的なことを広く知っていただくために、以前は一防犯設備士としてケーブルテレビで防犯の意識や対策についてシリーズでお伝えしてきましたが、これから富山県防犯設備協会として、防犯設備のプロとして、会員企業から専門的な防犯機器の解説やアドバイスをお伝えするコーナーを作ってもらえるよう働きかけをしています。

ひとりでも多くの富山県民の目に触れる活動をすることで、ひとりひとりの防犯意識がたかまるよう、活動の幅を広げていきます。

これからも、安心安全で住みよい富山県をつくるお手伝いができればと思っております。



公民館で防犯のおはなし



防犯フィルムの実演



上婦負ケーブルテレビ



防犯機器展示



ショッピングセンターへ啓蒙活動



防犯機器展示